

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	与謝野町立加悦中学校改築工事	階数	地上3F
建設地	京都府与謝郡与謝野町加悦730番地	構造	RC造
用途地域		平均居住人員	222人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2014年4月15日
敷地面積	13,933 m ²	作成者	キタイ設計株式会社
建築面積	3,154 m ²	確認日	
延床面積	6,770 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%

② 建築物の取組み: 68%

③ 上記+②以外の: 68%

④ 上記+: 68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
Q1 室内環境	全面的にF☆☆☆☆を使用する等、室内環境への配慮を行った	敷地内に緑地を施す等、室外環境への配慮を行った
Q2 サービス性能	配管材料等に耐用年数の長いものを採用する等、サービス性能への配慮を行った	
Q3 室外環境 (敷地内)		
LR1 エネルギー	高効率機器を採用し、一次エネルギー消費量を削減する等、エネルギーへの配慮を行った	
LR2 資源・マテリアル	節水型器具を採用する等、資源への配慮を行った	
LR3 敷地外環境		ライフサイクルCO ₂ を70%に抑える等、敷地外環境への配慮を行った

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される